

## (10) 北信地域 ～ 北信州 つなぎ育む 人・食・農 ～

## ■ 達成指標の進捗状況

重点 取組	達成指標	現状 (2016年)	2022年		目標 (2022年)
			計画	実績	
1	新規就農者数(45歳未満、単年度)	34人	36人	37人	36人
	中核的経営体数	1,226経営体	1,301経営体	調査中 経営体	1,301経営体
2	良食味米、業務用米等の栽培面積	535ha	650ha	521ha	650ha
	果樹戦略品種等の栽培面積	253ha	460ha	474ha	460ha
3	アスパラガスの新植・改植面積	89ha	135ha	125ha	135ha
	シヤクヤクの栽培面積	53ha	60ha	44ha	60ha
4	基幹水利施設(重要構造物)の整備箇所数	—	13か所	13か所	13か所
	畑地かんがい施設整備(再整備)面積	—	200ha	174ha	200ha
5	「おいしい信州ふード」SHOP登録数	91店舗	112店舗	110店舗	112店舗
	農産物直売所の販売額	15.6億円	17億円	20.5億円	17億円
6	多面的機能を維持発揮するための活動面積	3,503ha	3,639ha	3,884ha	3,639ha
	新たに観光資源として環境整備された 疏水等の箇所数	—	2か所	2か所	2か所

## ■ 重点取組1：経営向上をめざす優れた担い手の育成

## ○ 「北信州農業道場」等による新規就農者の育成と多様な担い手の確保

- ・ 市町村や農業委員会・JA等の関係機関が連携し、新規就農者の情報を共有するため就農促進連絡会議を開催(2回)、里親研修制度や新規就農者育成総合対策等の活用により新規就農者を支援
- ・ 意欲ある青年農業者を地域の担い手として養成するため、北信州農業道場の品目別3コース(ぶどう、アスパラガス、きゅうり)と選択講座4講座を開催



【北信州農業道場果樹コース視察】

## ○ 中核的経営体の確保と「カイゼン」等による生産性の向上

- ・ 経営効率化のため、農業経営サポート事業の重点指導農業者(11名)ごとに、県・市町村・JAによる「支援チーム」を構成し、課題解決に向けた支援を実施。また「カイゼン」による問題解決手法の実践を指導(2件)

## ○ 多様な雇用労力の安定的確保

- ・ 農福連携による障がい者雇用企業2社の農産物生産活動等を支援
- ・ 農業労働力確保のため、ハローワーク連携個別相談会を開催(1回)

## ■ 重点取組2：米・果樹・きのこ 市場競争力のある強い産地づくり

## ○ 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の生産拡大と収益性の高い米生産を推進

- ・ 需要に応え、品質の高い米づくりを推進するため、追肥時期や収穫期などの予測情報を提供(10回)、また、コシヒカリの品質向上対策として実証ほを設置(1か所)
- ・ 業務用米(「ほむすめ舞」・「あきだわら」等)の安定生産を図るため、JAと連携して栽培指導を実施
- ・ 酒米(「金紋錦」・「山恵錦」など)は実需の要望に応じた品質を確保するため、農業者に対して現地指導を実施し、JA等と連携した活動を実施



【きのこのJGAP維持審査】

## ○ 収益性の高い効率的な果樹経営と高品質な果実づくりを推進

- ・ ぶどう「ナガノパープル」・「クイーンルージュ®」・「シャインマスカット」の品質向上・安定生産のための講習会を開催(2回)するとともに、「シャインマスカット」で省力化技術の検討を行うための技術実証ほ(1か所)を設置
- ・ 防除徹底による核果類細菌性病害の軽減を図るため、実態調査・指導会を開催(1回)

## ○ きのこと経営管理力の強化、JGAP等安全・安心・環境対策を支援

- ・ きのこと生産者の国際水準GAPへの取り組み意識の向上や出荷物への異物混入対策のために、関係機関と連携して衛生巡回を行い、改善点について指導(20件)

- ・ きのこ生産者のJGAP取得を推進するための研修会等の開催や内部監査を支援（1回）

### 重点取組3：野菜・花き・畜産 特色ある多彩な農産物等の生産強化

#### ○ アスパラガス産地の再構築と果菜類（ズッキーニ・きゅうり等）を拡大

- ・ アスパラガスの生産量回復のため、重要病害である疫病・茎枯病に関する簡易診断を行い、JAと連携した講習会により、防除対策を徹底（2回）
- ・ 新規栽培技術、雨よけ栽培導入実証ほ場を設置（3か所）し、研修会等を開催（2回）するとともに、かん水、雨よけ施設の整備を信州農業生産力強化対策事業等により支援
- ・ ズッキーニ・きゅうりの安定生産を図るため、耐病性・商品性に優れる多収品種導入を検討する品種試験を実施（2か所）するとともに、きゅうりの新規栽培者を対象とした講習会を開催（3回）



【シャクヤクの凍霜害対策実証ほ】

#### ○ シャクヤクの有利販売と露地花き品目（ソリダゴ・ヒペリカム等）を拡大

- ・ シャクヤクの安定生産に向け、低温対策技術の試験ほ場を設置（1か所）すると共に、土壌伝染性病害の発生状況調査を実施（3回）
- ・ シャクヤクの出荷期間後における地元の需要に対応するため、雪室を活用した長期貯蔵試験を実施（1回）
- ・ トルコギキョウの安定生産に向け、土壌消毒の実施による土壌病害対策の実証（1か所）

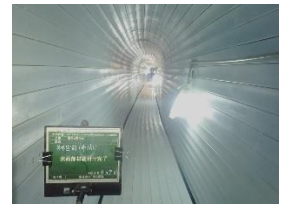
#### ○ 地域ブランドである畜産物の安定生産を支援

- ・ 農場における飼養衛生管理を徹底し、豚熱や鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の発生予防とまん延防止対策を行うとともに、発生を想定した防疫演習を実施（1回）

### 重点取組4：持続的な農業生産活動を支える基盤整備

#### ○ 基幹水利施設の機能を維持するための機能保全計画の策定と整備・更新

- ・ 水路トンネルなどの重要な農業用施設の長寿命化を図るための整備・更新を柳原地区（飯山市）、大沼池地区、夜間瀬地区（山ノ内町）において実施



【大沼池水路トンネル】

#### ○ 畑・樹園地の収益性を維持し、高めるための畑地かんがい施設の整備・更新

- ・ 畑地かんがい施設の老朽化が著しく、りんごやぶどう等の生産性と品質を高めるためのポンプ施設等の整備・更新を中野西部地区（中野市）において実施

### 重点取組5：地元「食」の魅力の共有・発信と地消地産の推進

#### ○ 「おいしい信州ふーど」・地元農産物の魅力の共有と県内外への発信

- ・ 地元農産物等の魅力発信に向け「おいしい信州ふーど」SHOPの登録を推進（4店舗増）

#### ○ 飲食店、ホテル・旅館、学校給食施設等における地元農産物の食材利用・地消地産を促進

- ・ 関係機関団体一体となり、飲食店等において地元食材（アスパラガス、伝統野菜）を活用したフェアを開催（4/29-8/21、9/1-12/18）給食事業者を対象に料理提案会を開催（きのこ1回）



【フェア開催ポスター】

#### ○ 地元農産物の販売拠点となる農産物直売所の機能強化を支援

- ・ 6次産業化志向農業者の商品開発（1件）、販路拡大（1件）を支援
- ・ 直売所運営案内人による農産物直売所の運営体制強化支援（1か所3回）

### 重点取組6：農村が有する多様な資源の維持・活用と農村の活性化

#### ○ 農業・農村の多面的機能の維持や農業生産活動の継続に向けた地域ぐるみの共同活動を支援

- ・ 多面的機能支払事業の取組を拡大し、農地、水路・農道等の保全活動、農業生産活動を継続するため、地域ぐるみの共同活動を支援

#### ○ 中山間地に立地する農村の保全（ため池・地すべり防止施設・水路の保全）

- ・ 地すべり防止区域において、調査解析を行うとともに、地下水排除工等の対策工事を実施
- ・ ため池の耐震調査を計画的に行い、併せて緊急性に応じたため池の耐震化工事を永田地区（中野市）において実施
- ・ 融雪時に多く発生する山腹水路の崩落・閉塞等に備え、雪に強い水路を栄地区で整備



【農業資産を活用した出前授業】

#### ○ 農業資産・農村資源を観光等に活用した農村の活性化を推進

- ・ 下高井農林高校において、農業資産を活用した出前授業を実施